

1 文献名
『木本小学校百年誌』
2 学校名
木本小学校
3 災害名
昭和 19 年（1944 年）10 月の暴風雨
4 記述の概要
(1) 雨や風、地震などの様子
10 月 7 日昼過ぎから夜にかけて時ならぬ暴風雨に加えて高波が襲来した。(P39)
(2) 学校内や地域の被害の状況
特に木本町では、70 年ぶりという風雨と潮害を受け、海浜沿いの人家はほとんど倒壊または半壊した。さらに潮害によって、西郷川の川尻が閉塞し、親地町筋一帯から中学校付近にかけて 200 戸近い家屋が浸水した。 木本町の被害は、住家流失 64 戸、納屋流失 68 戸、住家床上浸水 144。(P39)
(3) 復旧の様子
(4) 体験談
(5) 教訓など
(6) その他

1 文献名
『木本小学校百年誌』
2 学校名
木本小学校
3 災害名
昭和 28 年（1953 年）台風第 13 号
4 記述の概要
（1）雨や風、地震などの様子
（2）学校内や地域の被害の状況
<p>強風のため、屋根瓦の飛散する音が途絶えなかった。</p> <p>被害は、町内の特に海岸通り、新田、親地町の被害が大であった。</p> <p>校内では、便所の屋根がはがれ崩れ、2年5年梅組教室の非常戸がこわれたほか、校舎南隅のせんだんの木がほぼ真ん中から折れた。(P44)</p>
（3）復旧の様子
<p>役場からの依頼により、講堂を被災者家族に貸与した。</p> <p>被害を受けた児童の家へ職員が見舞にでかけた。(P44)</p>
（4）体験談
（5）教訓など
（6）その他
<p>校内職員の間で、台風対策について朝の打ち合せが行われた。(P44)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 注意をして事前に帰宅をさせること。</li> <li>2 職員は、事前に担当区域の児童を送り帰すこと。</li> <li>3 職員は、学校に待機して警備にあたること。</li> </ol>

1 文献名
『木本小学校百年誌』
2 学校名
木本小学校
3 災害名
昭和 34 年（1959 年）伊勢湾台風
4 記述の概要
<p>(1) 雨や風、地震などの様子</p> <p>9 月 23 日から紀南地方に降り始めた雨は、停滞前線の影響で 24 日朝 9 時までに 270 ミリ、正午までに 400 ミリの記録的な豪雨となった。(P52)</p>
<p>(2) 学校内や地域の被害の状況</p> <p>西郷川沿線の木本高等学校など新田地区の住家に浸水し、全半壊家屋 3 の被害が出た。熊野市内では、人家の全壊 180、半壊 159、流失 11、床上浸水 297、床下浸水 601、一部損壊 3614 戸に達した。</p> <p>土木事務所の調査でも、新鹿、飛鳥等で河川橋梁の被害が甚大であった。(P52)</p>
<p>(3) 復旧の様子</p>
<p>(4) 体験談</p>
<p>(5) 教訓など</p>
<p>(6) その他</p>